



柳生もりの子保育園で大運動会

十月十七日(土)秋空のもと 黄色い声援飛び交う

きらきら発電二号機の発電が開始されたばかりの仙台市太白区柳生もりの子保育園で、十月十七日(土)秋の大運動会が開催されました。

かわいい園児の姿を見ようと詰めかけた父母・祖父母。そのなかに「きらきら発電」の会員である長町病院内科医師の佐藤行夫先生の姿もありました。「うちの孫も」と、うれしそうに語ってくれました。

十月千四百七十KW発電

十月十四日検針があり、十月一日からの発電が千四百七十kwと通知されました。天気続きで、大変順調なスタートです。もりの子発電では年間百万円の収入が見込まれています。

株式会社思潮社発行
清岳 こう 著
「春 みちのく」

詩集紹介

ばらの芽に

ばらの芽に 毛虫が一匹
今年はそっとしておく
ともに生きのびたもの同士

転入生

空気が重いのです
咽喉にかん高くさえずる鳥がいるせいです

ふるさとに戻るに戻れないのです
甲状腺にはばたく鳥がいるからです

私の呼吸にカナリアの一族が
住みついているのです



最終処分場候補地緊張高まる

放射性指定廃棄物最終処分場の候補地加美町では、現地調査を理由に環境省職員が連日山入りし、地元田代岳では緊迫状態が続いています。特に 10月 13 日から連日山入りすると環境省が宣言したため、地元の「断固反対する会」は連日奮闘しています。

きらきら発電事務局広幡も、10月 13 日支援に行ってきました。(写真)



井土浜1号機フェンス工事完了

10月検針で1万KWを超え、収入35万円台に

きらきら発電井土浜1号機のフェンス工事が10月21日完成し、これで1号機の工事すべてが完了しました。

また同じ10月21日の検針で9月17日からの発電量が1万kwを超え、月の収入が35万円台に。この時期1ヶ月の発電量は6900kwと予想されていただけに、うれしい悲鳴となりました。

井土浦生態系観察会開く



9月26日(土)「せんだい生態系再生コンサート」主催で、井土浦観察会が行われました。参加者は20名。3チームに分かれて、貝やエビ・カニなど干潟に生きる生物を探しました。カニは7種類も見つかり、生物が大津波を乗り越え生きていると実感しました。

太陽光全電力の6,4%に 今年夏ピーク時、昨年比で倍増

河北新報10月10日付け朝刊で、供給電力量のうち、太陽光発電が6.4%占めていたと報道。昨夏の3.7%から倍近く伸びたこととなります。出力は原発10基分に相当する1093万kwでした。2013年と比較すれば5.1倍です。

九州電力川内原発1号機の再稼働が8月中旬に強行されましたが、原発を稼働させる理由は1つもないことを、証明したと言えます。

電力9社で比較すると、上位3社が中国電力9.0%、九州電力8.9%、中部電力7.6%となっています。出力量では東京電力の373万kwが最高でした。

自然エネルギー発電をこれからもどんどん増やし、原発再稼働をふっ飛ばしましょう。

NPOきらきら発電・市民共同発電所

〒981-3215 仙台市泉区北中山3-17-12

広幡方 電話・FAX 022-379-3777

メール=kirakirahatuden@outlook.jp

<http://kirakirahatuden.com/>

News 第12号

2015年11月